

- ◆研究者：酒井 瞳（カイ ヒトミ）先生 / 昭和大学先端がん治療研究所
- ◆研究テーマ：子宮頸がん患者の治療後の性機能障害と不安・抑うつ患者報告アウトカムを用いた前向きコホート研究
- ◆助成金額：50 万円

1：研究者になろうとしたきっかけ

研究をはじめたのは、先輩の勧めがきっかけです。研究をはじめたら、自分の担当している患者さん達が応援して喜んでくれたので、これはとても重要なことなのだと分かりました。

2：助成研究の内容紹介

手術や放射線治療を予定している子宮頸がんの患者さんに協力いただき、治療前後の性機能障害、不安や抑うつについて検討します。研究は、婦人科悪性腫瘍研究機構 (JGOG) に所属する多施設で実施します。

3：2の将来に繋がる結果予想・目標

本研究で扱う「セクシュアリティ」は、単に性交渉の有無を指すのではなく、その人らしさや対人関係を含むとても重要な問題ですが、これまで医療現場では十分な対応がなされてきませんでした。本研究を通して、子宮頸がん患者さんのセクシュアリティにまつわる困りごとを明らかにし、医療者と患者さんの対話やよりよいケアにつなげたいと考えています。

4：全国の RFL 関係者に一言メッセージ

本研究を採択いただきありがとうございます。しっかり進めてまいります。